



よい習慣を

「おはようございます。」

朝から、子供たちが元気いっぱいの明るい挨拶をしてくれます。すがすがしい一日の始まりです。

桜町小学校には、立ち止まって、相手を見て挨拶をする「ワンストップ挨拶」ができる子がたくさんいます。このような挨拶が子供の生活習慣になっているというのは、本当に素晴らしいことです。

本校の子供たちはこれまで、以下のような習慣（『さくらまち習慣』と名付けられています）を身につけようと努力してきています。



- 【さ】 さわやか ワンストップあいさつ （場に応じた元気な挨拶）
- 【く】 クリエイト3つのかまえ （物構え 身構え 心構え）
- 【ら】 ランラントラック走り （朝のランニング等をとおしての体力向上）
- 【ま】 マナー守るよ はしっこ歩き （安全を意識した廊下歩行）
- 【ち】 ちいさなことから あったか言動 （思いやりのある言動）

子供たちは、この5つの「さくらまち習慣」を意識して学校生活を送り、月末には「さくらまち習慣 ふりかえりカード」を使って、【よくできた】【できた】【あまりできなかった】【できなかった】の4段階で自己評価してきています。今、登校時の子供たちの様子を見ると、特に一つ目の【さ】さわやか ワンストップあいさつ がよくできていると感じています。

それともう一つ、本校の子供たちの習慣で、これは素晴らしいなと思っていることがあります。それは、「はきものそろえ」です。ほとんどの子供たちが、自分の靴を靴箱に入れる時、かかとを揃えています。本校の玄関は靴箱が整然としています。



森信三という明治生まれの有名な教育学者がいます。この先生は、子供の頃の大事なしつけを、以下のように述べています。

- 第一は、「毎朝親に対してあいさつができる」
 - 第二は、「親から呼ばれたら、必ずハイという返事ができる。」
 - 第三は、「席を立ったら、イスを必ずキッチンと中へ入れておく。はき物を脱いだら、必ず揃える。」
- これらは、「人間としての軌道」とも言えるものです。・・・

幼少期は、一生の中でも吸収力に恵まれている時代です。「習慣は第二の天性」とも言われますが、ぜひ、子供たちにより習慣を身につけさせたいものです。これからも望ましい基本的生活習慣の形成に向けて、子供たちに働きかけていきたいと考えています。ご協力、よろしくお願いします。

歓迎集会・遠足

4月28日（月）は、子供たちが楽しみにしていた歓迎遠足でしたが、あいにく朝から雨に見舞われました。歓迎集会は予定通り体育館で実施できましたが、その後は、校内で過ごすことになりました。

歓迎集会では、6年生と手をつないだ1年生の入場から始まり、運営委員会の子供たちによる学校紹介がありました。学校紹介では、生活科や給食、桜っ子くんちのことなどについて、1年生にも分かりやすく紹介がなされました。その後のレクリエーションは、同じ誕生月の子供たちが中央に集まり、手をつないで一つの輪をつくって音楽に合わせてぐるぐる回るというものでした。



これがとても盛り上がりました。

歓迎集会の後は、それぞれの学級、学年に分かれて、教室や体育館でレクリエーションをしたり、交流会をしたりしました。



校内遠足。子供たちは、校内で非日常を味わいました。